



なとと通信

3・11から10年

東日本大震災から10年。当時を思うと辛く、悲しく、厳しかった状況が甦り、胸が苦しくなります。それぞれの10年があり、今があります。震災後、車で貸出を再開した図書館に人々が来館する姿をみて、「本」の力ってすごいな、と思いました。図書館の大切さを感じた瞬間でした。いろんなことが起きる中、日々の暮らしを大事にしながら懸命に生きていきたいと思います。三人の方々にそれぞれの想いをご寄稿頂きました。

10年前のこと ～東日本大震災と「なとと」～

名取市図書館 館長 柴崎悦子

2011年5月10日、この日、名取市図書館は、震災後、初めて貸し出しを行いました。場所は、自動車図書館「なかよし号」の車庫の中。車庫といっても、屋根がかかっているだけのほぼ屋外のようなところです。4人しかいなかった職員は、まだ避難所の対応も行っていたので、開館日は、火・木・土のみ。開館時間も10時から14時までと、極めて限定的なものでした。それでも、本を求めている市民に貸し出しを行うことができるようになった喜びは、とても大きいものがありました。

震災から2か月経ってようやく始まった図書館サービスでしたが、職員だけで行うには限界がありました。必死になっている職員の様子を見かねてか、一人二人と返却を手伝ってくれる人があられました。そのうちに、キラキラの会さんが、書庫に行く通路にお花を置いてくれたり、外でおはなし会をしてくれたり、殺風景だった車庫の壁面にかわいい飾りを作ってくれたりして、何も無い図書館を明るくしてくれました。夏には、七夕飾りを飾ったり、水ヨーヨーで子供たちと遊んだり・・・震災から10年が経ちますが、あの頃の記憶は今でも鮮明に残っています。



「なとと」は、今では会員が100人を超える大所帯となりましたが、出発点は、あの頃、自然発生的に集まってくれたボランティアの人たちです。会則にもある「名取市図書館を援け、支える」精神は、その頃から今でもずっと続いています。そんな『市民と共に歩む図書館』を実現できていることに、私はとても誇りを感じています。

これからも、「なとと」と図書館と一緒に歩み続けられますように・・・。

震災から10年

なとと代表 三塚 玲子

震災から2ヶ月後、5月10日名取市図書館臨時開館の知らせがありました。書庫、車庫、自動車図書館を使っただけのオープンです。「図書館開いたって～」来る人皆笑顔でした。

早期に再開できたのは、石狩市民図書館を中心にして全国からのボランティアの方達の支援があったからです。

夏頃には地元ボランティアの人数も増えました。そこで石狩市民図書館ボランティアと「本の修理」「布絵本」の研修、交流会を持ち、私達は熟練の技を学ぶことができました。

10年前の時集まった人達の輪が、図書館ボランティアの芽かもしれません。今「なとと」ができ、仲間も増えました。

これからも共に図書館で楽しみ、支え、歩んで行きたいと思います。



地震と共に

なとと代表 増田 祐子

図書館とは、私にとっては人と過ごす空間と言うよりも、一人で静かに過ごす空間でした。今では「友の会・なとと」を設立し、仲間と共に過ごす事も増えました。

震災後の図書館運営はとても厳しい状態で、ボランティア無しでは不可能と言っても過言では無い状況でした。以前から図書館と繋がりのあった方々が、自発的に、または、誘い合って、たくさんの方々のボランティア活動が始まり図書館運営の手助けになったと思います。これからも力を合わせてより良い図書館をみんなで作って行きましょう。



♪わたしからあなたへ♪
本のバトン
「グインサーガ」

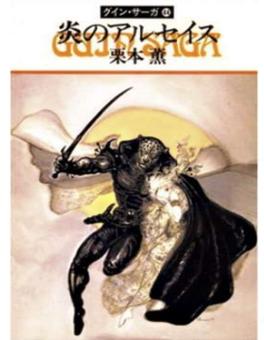
no. 3

高橋 みちる

グインサーガは本編 147 巻、外伝 26 巻まで刊行されていて、未だ継続中のヒロイックファンタジーです。ストーリーはもちろんですが、20 巻から 56 巻までのイラストを天野喜孝が手がけていて、ジャケ買い有りです。

豹頭の戦士グインを中心として中原を舞台に国と国との戦争や興亡、貴族の愛や憎悪が織りなす人間模様が描かれています。登場人物の多さは追従を許さず、読者一人、一人がそれぞれの主人公を見いだすことでしょう。

あまりの長さ、手が出にくいと思いますが、図書館にあります。まず、イラスト、又は題名などから一冊手にとってみて下さい。



ハヤカワ文庫 JA
「GUIN SAGA」
栗本 薫：著
早川書房：出版

☆☆1月・2月のナイトライブラリー☆☆

★1/29 「酒造りにかける一閑上で造るということー」



今夜は、平安時代から街として描かれている『閑上』で、酒造りをしている佐々木酒造店の五代目蔵元（専務）佐々木洋氏からお話を伺いました。佐々木酒造店は、創業明治4年(1871年)で150年の歴史があり、銘酒『浪の音(なみのおと)』を造ってきました。

10年前の東日本大震災で65分後に来た津波に全て流されました。42年前の宮城県沖地震で、再建した酒蔵にもかかわらず。でも不思議と心は折れていなかったそうです。

造り酒屋として、何をすべきか。答は弟の杜氏淳平さんと二人三脚で、この閑上で酒造りをする。100年後を見据えてやる、というものでした。日本全国の仲間からの応援もあり、H30東北清酒鑑評会の優等賞で結実します。

試飲会で頂いた大吟醸のコクのある旨み。ずーっと残った忘れられない後味。閑上を 名取を 宮城を元気にする酒造り、頑張ってください。応援しています。ありがとうございました。

★2/26 「みちのくの昔話と伝説ー東北の言葉で聴く語りの世界ー」

「むが〜し あったづもな」。

たちまち民話の世界に引き込んで幕が開いた今月のナイトライブラリーは、みちのく公園「ふるさと村の民話の会」会員のおふたり、紺の上着に身を包んだ秋田出身の海沼寿子さんと岩手出身の千葉ケイさんをお迎えしました。最初のお話は『笠地蔵』、『あんびんと夫婦になった長八』、遠野三大民話の中から『おしら様』、おもわず息をのむ悲しい『ホトトギスの話っコ』と、次から次へと紡ぎ出された合計六篇のお話に会場は静かなぬくもりで包まれた様でした。

そしておしまい言葉はやっぱり「ドント ハレ」



☆☆これからのナイトライブラリー☆☆

★3/26 「よそもの僕が閑上でやっていること」

ゲスト「ユリアゲサンス」メンバー
高橋 大善氏
(株式会社センシン食品)

★4/30 「笹谷峠と川崎町の古道を歩く」

ゲスト「みちのく杜の湖畔公園」職員
土方 敏彦氏 (相互台在住)

★5/28 (調整中)

毎月最終金曜日
時間 19:30~20:30
会場 カフェコーナー
定員 40名 参加費 無料
申込み 図書館へ

柴崎館長さま

おめでとうございます

文部科学大臣より多年にわたる図書館活動のご功績に対して表彰されました。心からお祝い申し上げます。



第4回総会のご案内

日時 5月30日(日) 10:00~
会場 増田公民館 研修室 1・2

としょかんこどもまつりの開催

日時 4月24日(土) 9:00~
会場 図書館おはなしのへやと周辺

*おはなし会

- ① 9:30 ねむの木
 - ② 10:30 スマイル
 - ③ 11:30 キラキラの会
 - ④ 13:00 スマイル
 - ⑤ 14:00 キラキラの会
- 所要時間は15分程度です。

*工作コーナーやゲームコーナー、布絵本の展示もあります。



でんごんぼん

♪「としょかん文庫・友の会」の機関紙「としょかん」に「★東日本大震災から10年★名取市図書館友の会『なとと』です!」のタイトルで大野千晴さんの記事が掲載されました。掲示板「なととひろば」に掲示していますので、ご覧ください。
♪2月13日の震度5強の地震により図書館3階の書架の本が大量に落下しました。3日間休館中、なとと会員以外にも2名の方が、お手伝いに駆け付けて下さいました。この場を借りて、感謝申し上げます。職員の皆さん、お手伝い頂いた皆さん、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。